

## 研究協力のお願ひ

この度、当院において下記の内容にて観察研究を行うことになりました。ご理解・ご協力のほど、よろしくお願ひ致します。

大阪医科大学附属病院

一般・消化器・小児外科

### 記

研究課題名：腹壁癒痕ヘルニアに対する手術術式別治療成績の検討(多施設共同試験)

研究の意義：腹部手術の合併症として腹壁癒痕ヘルニアは 10-20%の確率で発症するとされています。発症の危険因子としては、高齢、肥満、術前化学療法投与症例などと報告されており、今後、高齢化社会、食事の欧米化により肥満患者さんの増加や化学療法に進歩に伴い化学療法後手術となる症例は増加するものと考えられ、今後多く経験されるものと考えられます。

研究の目的： 腹壁癒痕ヘルニアに対する手術経過を観察させていただくことです。

研究の対象： 腹壁癒痕ヘルニアに対して手術をさせていただいた患者さん

研究の方法： 2010年1月から2019年12月まで当科および関連施設で腹壁癒痕ヘルニアに対し手術加療を行なった約500例を対象に診療録を後方視的に調査します。1)年齢、性別、2)現病歴、3)既往歴、4)確定診断に到るまでの血液検査結果、画像所見、5)手術記録、6)合併症、7)入院期間、8)転帰、9)術後治療、10)予後、のデータを抽出して臨床像をまとめます。

※ご自身の既存試料・情報を研究に使用させて頂くことに対して同意頂けない場合は、下記の申し出先までご連絡ください（対象者の代理人からの申し出も受付いたします）。申し出をされた場合は、当該研究への利用はいたしません。しかしながら、研究結果が出た後の参加拒否の申し出については、データを研究結果から削除することができかねますので、予めご了承ください。

※対象者の方（その代理人）の申し出により、他の対象者の方の個人情報保護や当該臨床研究

の独創性の確保に支障がない範囲内で、当該臨床研究計画及び当該臨床研究の方法に関する資料を入手又は閲覧できます。

※本研究にて取得しました試料・情報は、当該研究に関わる者と個人情報の管理者（濱元 宏喜）が利用いたします。

研究期間：研究実施許可日～2022年3月31日

個人情報の内容およびその利用目的、開示等の求めに応じる手続き：

利用する個人情報は、1)年齢、性別、2)現病歴、3)既往歴、4)確定診断に到るまでの血液検査結果、画像所見、5)手術記録、6)合併症、7)入院期間、8)転帰、9)術後治療、10)予後、等であり、本人を確認する氏名、イニシャル、生年月日等は使用しません。（個人情報保護の観点より匿名化の後でデータ集計を行うことで、個人情報の取り扱いに細心の注意を払います。）個人情報の利用は当院の研究担当者に限られています。また、当該被験者より個人情報の開示の求めがあった場合は、すみやかに開示を行います。

個人情報の取り扱いに関する相談窓口：

大阪医科大学附属病院 一般・消化器・小児外科 担当：米田 浩二

利益相反について：

本学は、臨床研究を含む自らの研究成果について積極的に地域社会へ還元することで、社会から求められる研究拠点を目指しております。一方で、研究に関連して研究者が企業から経済的利益を得ている場合には、研究の成果が歪められる、または歪められているとの疑念を抱かれる可能性が出てきます。このような利益相反の状態を適切に管理し、研究の透明性、信頼性および専門性を確保していることを社会に適切に説明するため、本研究は、本学の利益相反マネジメント規程に則して、実施されております。

当該マネジメントの結果、本研究に関して開示する事実がない旨をお伝えします。

研究者名： 研究責任者：一般・消化器外科学 教授 内山 和久

主任研究者：一般・消化器外科学 講師(准) 米田 浩二

分担研究者：一般・消化器外科学 診療准教授 廣川 文鋭

大阪医科大学 関連施設

問い合わせ、参加拒否の申し出先

〒569-8686 大阪府高槻市大学町2番7号

大阪医科大学附属病院

一般・消化器・小児外科

担当：米田 浩二

TEL 072-683-1221(代表) 内線 2361